資料５－２

道内の情勢について

目次

１．道内のプロジェクト
- ８つのGXプロジェクト
- GX金融・資産運用特区

２．道の支援策
- 北海道GX推進税制優遇
- 北海道GX地域未来投資促進制度
- 企業立地の促進制度

１．道内のプロジェクト
８つのGXプロジェクト

８つのGXプロジェクト

北海道の全国随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを背景に
ＧＸ投資に向けた様々な取組がスタート

洋上風力関連産業

・道内**５箇所が「有望区域」**に選定。
２箇所(浮体式)が「準備区域」に整理。

1 石狩市沖
2 1 岩宇・南後志地区沖
3 2 島牧沖
4 檜山沖
5 松前沖

■ 有望区域
■ 準備区域

・全国の洋上風力案件形成目標45GWのうち、1/3の15GWが北海道

海底直流送電

・日本海ルート200万kWについては、**2030年度を目指して整備**(GX基本方針)

蓄電池

・蓄電池(**系統用蓄電池**や**地域マイクログリッド**の蓄電池)工場の立地

・風力発電の出力調整用設備として、豊富町に**世界最大規模の系統蓄電池**(72万kW)を設置
(出典)北海道北部風力送電

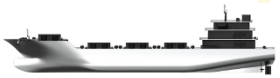
次世代半導体

・**ラピダス社の立地決定**
2025年４月、
パイロットライン稼働

Rapidus㈱作成資料

電気及び水素運搬船

・電気運搬船建造を計画中の**Power Ｘ社**は室蘭市、苫小牧港管理組合とそれぞれ連携協定を締結



SAF

・本邦エアラインにおいて2030年度まで導入割合10%を目標
・**苫小牧市**では、全国９カ所で選定された**先進的CCS**への取組が始められており、水素製造と合わせて、将来SAFを含む合成燃料の製造が期待

データセンター

・国が九州とともに**北海道**を**デジタルインフラ整備の中核拠点**として位置づけ
・これまで45箇所のデータセンターが立地(道庁調べ)
・**ソフトバンク**の苫小牧への**立地決定**
・ＡＩに関する実証・実装促進地域の全道展開

水素

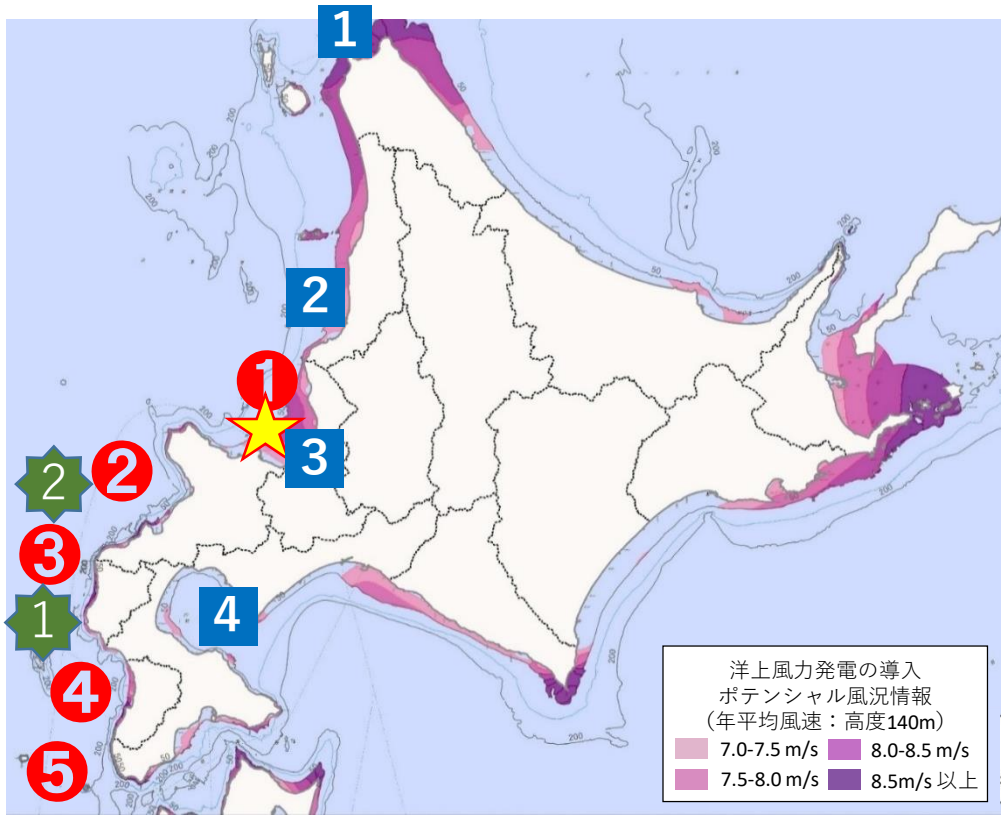
・**北海道電力では、１ＭＷ級**の水電解装置(水素発生量200Nm³／h)などを設置
(出典)ほくでんウェブサイト

・**札幌市**では、環境省「脱炭素化先行地域」で、大型車両に対応した定置式水素ステーションの整備など**「水素モデル街区」**を盛り込む

・国が進める水素・アンモニア**供給拠点の整備**とともに、15年間で**３兆円規模の価格差支援**について、**道内**でも**選定**されるよう**推進**

洋上風力発電に関する北海道の状況

恵まれた風況を生かし、多くの計画が検討中



港湾区域における洋上風力発電

☆ 石狩湾新港洋上風力発電所

・8,000kW×14基　112,000kW
（連系容量99,990kW）
・運転開始：2024年1月
・事業会社：合同会社グリーンパワー石狩

再エネ海域利用法に係る区域整理状況

●道内5か所が「有望区域」に整理

❶ 石狩市沖
❷ 岩宇･南後志地区沖
❸ 島牧沖
❹ 檜山沖
❺ 松前沖

●２カ所（浮体式）が「準備区域」に整理

1 島牧沖（浮体）
2 岩宇・南後志地区沖（浮体）

基地港湾の指定意向を表明している港湾

1 稚内港
2 留萌港
3 石狩湾新港
4 室蘭港